

氏名： 松本 勲武 (MATSUMOTO Isamu)
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系
学位： 薬学士 (1967 東京大学)、薬学修士 (1969 東京大学)、薬学博士 (1972 東京大学)
職名： 教授
専門分野： 糖鎖関連生物科学
E-mail： matsumoto.isamu@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

レクチン・凝集素／アネキシン／アフィニティー吸着体

◆主要業績

総数 (2) 件

- Nishioka S, Aikawa J, Ida M, Matsumoto I, Street M, Tsujimoto M and Kojima-Aikawa K. Ligand-binding activity and expression profile of annexins in *Caenorhabditis elegans*. **J. Biochem (Tokyo)**. 141(2007)837-848.
- Abe H, Kondo Y, Jinmei H, Abe N, Furukawa K, Uchiyama A, Tsuneda S, Aikawa K, Matsumoto I and Ito Y. Rapid DNA chemical ligation for amplification of RNA and DNA signal. **Bioconjug. Chems.** 19(2007)327-333

◆研究内容 / Research Pursuits

1. カルシウム結合タンパク質ファミリー、アネキシンの生物学的機能を明らかにすることを目的に、モデル生物線虫に発現されている4種類のアネキシン (nex-1 ~ 4) について、レクチン活性、脂質結合活性を調べ、遺伝子の発現パターンを解析した。その結果、線虫アネキシンもヒトアネキシンと同様なリガンド結合活性を有することや、4種のアネキシンが細胞種特異的に発現されていることがわかり、線虫を用いる解析がヒトアネキシンの機能研究に有用であることを明らかにした。
2. 酵素反応を用いない、安定で迅速なRNA、DNA検出方法の開発を指向して、化学的な核酸連結反応をデザインおよび核酸試薬の合成を行った。

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部では、主として生化学関連の基礎的および専門的な内容を紹介する授業と実験、ならびに化学の基礎実験の指導を行った。授業科目は次の通りである。

構造生化学Ⅱ
生体分子機能・認識学
生物化学実験
化学基礎実験

大学院博士前期課程では生化学の専門分野、特に糖鎖関連分野の講義、ならびに演習を行った。

糖鎖分子生物学
生物化学
生物化学演習

大学院博士後期課程では学位論文の研究の指導を行った。

◆メッセージ

本学は中期目標・中期計画の前文冒頭で『お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって真摯な夢の実現される場所として存在する。すべての女性とその年齢国籍等にかかわらず、個人の尊厳と権利を保障され、自由に己の資質能力を開発し、知的欲求の促すまま自己自身の学びを深化させることを支援する』と声明しています。

若い方のなかには『学び→勉強→試験→受験→苦痛』という暗い連想をされる方が多いかもしれません。孔子の学問の極意『之を知るは之を好むにしかず。之を好むはこれを楽しむにしかず』は、『知る→好む→楽しむ』という

学びの深化を説いています。私は『学び→最高の遊び→至上の楽しみ』というホモ・ルーデンスの連想のとりこになっています。お茶大とのかかわりにより、この連想がすべての女性にとって自己自身の現実の事となり、さらには真摯な夢の実現となることを願っています。